

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月
基準日	定時株主総会 毎年2月末日 期末配当金 毎年2月末日 中間配当金 毎年8月31日（中間配当を行う場合） （その他必要がある場合はあらかじめ公告して定めた日）
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777（通話料無料）
公 告 方 法	電子公告（当社ホームページに掲載） http://ww2.maruyoshi-center.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
上 場 取 引 所 市 場	東京証券取引所 スタンダード市場

（ご注意）

- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



環境方針

- ①企業活動のなかで、資源の有効利用、省資源、省エネルギー、廃棄物の削減、環境に配慮した商品の提供に取り組んでいきます。
- ②環境に関する法規制および当社が受け入れを決めた要求事項を遵守します。
- ③環境保全のために必要な改善の継続と汚染の予防に努めます。
- ④この方針は、文書化して全従業員に周知徹底し、実施・維持します。
- ⑤この方針は、社内外全般に公表します。

マルヨシセンターホームページ

マルヨシセンターに関する情報は、ホームページでご覧いただけます。

<http://ww2.maruyoshi-center.co.jp/>



株式会社 **マルヨシセンター**

MARUYOSHI SUPER REPORT

第65期 報告書

2024年3月1日 ▶ 2025年2月28日

MARUYOSHI CENTER

Top Message

地域の皆さまの食生活を
より豊かに、楽しく、便利にする
ライフスタイル提案型
スーパーマーケットを目指します。



代表取締役会長 CEO
佐竹 克彦



代表取締役社長 COO兼CFO
加藤 宏道

株主の皆さまには、日頃より格別のご支援をたまり、誠に有難く厚く御礼申し上げます。

ここに、当社グループ第65期連結会計年度（2024年3月1日から2025年2月28日まで）の事業の概要と決算につきましてご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国の経済は、インバウンド需要の増加や社会活動の正常化に伴う人流の回復など景気回復の兆しが見える一方で、資源・エネルギー価格の高騰、ロシア・ウクライナ戦争並びにイスラエルにおける武力衝突の長期化、中国経済の停滞など景気の先行きは不透明な状況が続いております。

個人消費につきましては、雇用・所得環境改善の兆しはあるものの、急速な円安の進行やコストアップに伴う物価の高騰等により実質賃金は低迷し、厳しい状況で推移いたしました。

小売業界におきましても、物価上昇による将来へ

の不安による購買意欲の低下、労働需要の逼迫に伴う人件費関連コストの増加、エネルギー価格の高騰に伴う光熱費や運賃等の経費の増加など、業界を取り巻く環境は引き続き厳しさを増しております。

このような状況の中、当社グループでは引き続き「健康とおいしさ」を軸とした「マルヨシクオリティー」の追求を方針としております。第一に接客サービスの向上を目指し、マニュアルにとらわれない「お客様中心」のサービス構築によるホスピタリティの向上を図っております。また、商品についても「健康とおいしさ」をキーワードに、より高い品質を追求し、生鮮（精肉、デリカ他）を強化カテゴリーと位置づけ、さらなる差別化を進めることで、生鮮の魅力度向上を図っております。あわせて「味Gメン」による味と品質チェックも継続し、より高い「マルヨシクオリティー」の実現を目指しております。また、お客様が「必要な時に」「必要なものが」「必要な数量」揃った売場を目指して品切れさせない時間帯別の売場管理を徹底しており、サー

ビス・品質・売場の総合的な観点からお客様に満足いただけるお店作りを行っております。これらの施策のフラッグシップモデル、かつ、当社の四国戦略の一号店として2024年11月に三加茂店（徳島県三好郡）を改装オープンいたしました。

一方で、製造工場の生産性向上も重要課題ととらえ、製造商品の選択と集中による製造効率の向上や新しい製造機器への投資による生産性の向上に取り組んでおります。

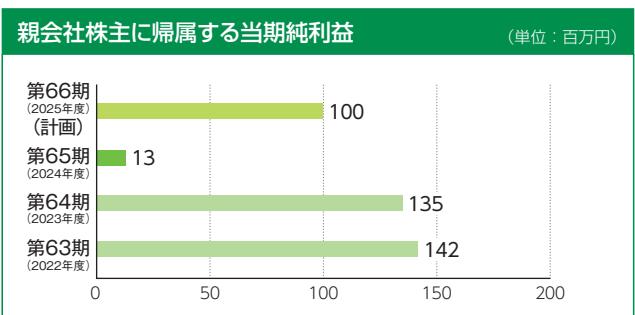
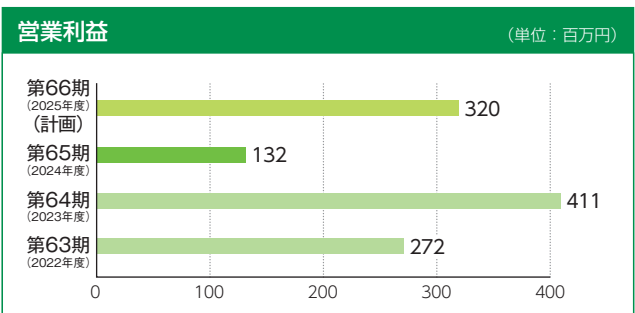
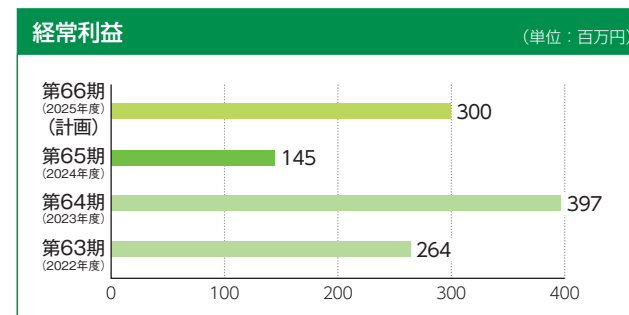
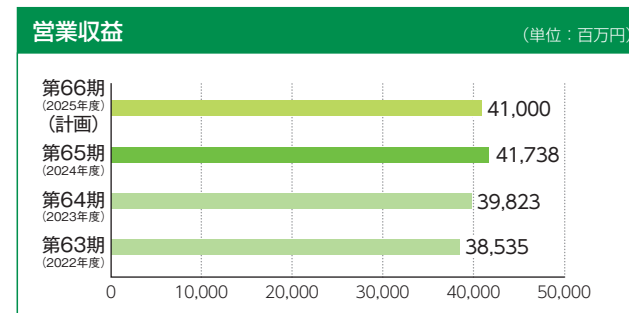
また、株式会社イズミのランサムウェア感染被害の影響やシステム統合に伴う当社システム整備のための

費用が発生したものの、段階的に進めてきた株式会社イズミとの仕入、物流、システムの統合が2024年6月から本格稼働しており、今後は、仕入れ原価の低減や物流の効率化を更に進め、利益拡大を図ってまいります。

このような取り組みの結果、当連結会計年度の売上高は397億66百万円（前期比3.7%増）、営業利益は1億32百万円（前期比67.7%減）、経常利益は1億45百万円（前期比63.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は13百万円（前期比89.8%減）となりました。

2025年5月

財務ハイライト（連結）



もっとおいしく! もっと便利に!

三加茂店がリニューアルOPENしました

マルヨシセンターの「四国戦略」※第1号店として、徳島県三好郡東みよし町のマルヨシセンター三加茂店を装いも新たにリニューアルオープンしました。これからもより魅力的で地域の皆様から愛されるお店を目指してまいります。

※「四国戦略」とは、個々の店舗がその地域におけるシェアを拡大するために、店長による強いマネジメント力と高い経営管理能力を発揮して個店経営を実践する戦略。



オープン前から大勢のお客様にお越しいただきました。

イートインコーナー

地名から加茂カフェと命名。
テーブルとイスにもこだわり、
快適な空間を演出。



青果コーナー

店舗入り口すぐの果物のボリューム陳列で迫力ある売場を。



海産物コーナー

マルヨシクオリティーの神髄、魚よしの握り寿司を本格導入。



精肉コーナー

集客部門として精肉部門を大幅拡充。和牛の品揃えも充実。



冷凍食品&アイスクリームコーナー

トレンドに合わせて冷凍食品コーナーを大幅拡大。アイスクリームコーナーでは、こだわりアイスやご当地アイスも品揃え。



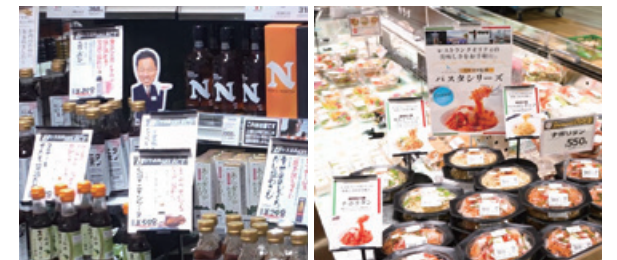
ベーカリー&ピザコーナー

コンパクトなベーカリー設備を新たに導入。
焼きたてパンと焼きたてピザが大人気。



多彩な情報提供

多彩なPOPを駆使してお客様に商品情報を提供。



接客・ホスピタリティ向上に取り組んでいます

2025年営業方針～お客様に満足していただくこと～

当社の最優先課題として、お客様満足度の向上に取り組んでおり、中でも接客力・ホスピタリティ向上の取り組みを強化しています。「お客様にもっと喜んでいただける対応は何か？ 自主的に考え、行動すること」をホスピタリティの行動指針としており、全社一丸となって取り組みを推進しています。

基本レベルの向上を目的に、接客マニュアルを活用し、お客様に「変わった」と思っていただけの店舗づくりを目指しており、四半期ごとの接客覆面調査結果を基に改善指導を行うなど、店舗力の向上に努めています。

◆お客様の声・いただいたお褒めの言葉の枚数◆

お客様からいただくご意見の内、お褒めの言葉が2024年度は200件を超えました。2025年度は240件を目指します。



お客様にもっと喜んでいただけるよう、接客・ホスピタリティ向上の取り組みを進めています。



店舗管理職や本部人員を集めたホスピタリティの集合研修を実施。



接客・ホスピタリティに秀でた店舗を表彰しました。



指導員が各店舗を回って、接客の質を評価。店舗スタッフにフィードバックして、おもてなしの底上げを図ります。

第2回かがわプラスチック・スマート大賞「特別賞」を受賞

店舗でのプラスチックトレイの分別回収・リサイクルへの取り組みが評価され、第2回かがわプラスチック・スマート大賞「スマートショップ特別賞」を受賞しました。

全店舗でマイバッグ、マイバスケットの持参を推奨し、レジ袋の削減に努めるとともに、レジ登録時に水濡れの恐れのあるものに限り、ビニール袋入れサービスを行うことなどにより、店舗で使用するビニール袋も削減していることが高く評価されたものです。

今後もプラスチックトレイの分別回収・リサイクルをはじめとする環境保全活動に積極的に取り組んでまいります。



香川県庁で表彰式が行われました。



表彰状と盾。



香川県と香川大学学生ESDプロジェクト 本年はSteePが実施するフードドライブに香川県全店が参加

食品ロス削減啓発活動の一環として、家庭で余っている食品を持ち寄り、フードバンク団体を通じて、必要としている団体や施設などに寄付する活動「フードドライブ」への参加を拡大しています。



お店の目立つ場所で、大きくアピール。



2024年度は106.2kgの食品をお客様からご提供いただきました。



連結財務諸表（要約）

連結貸借対照表

（単位：千円）

科 目	前 期 末 （2024年2月29日現在）	当 期 末 （2025年2月28日現在）
資産の部		
流動資産	3,050,355	3,070,406
固定資産	13,142,248	13,127,242
有形固定資産	10,947,375	10,883,727
無形固定資産	529,130	620,109
投資その他の資産	1,665,743	1,623,405
繰延資産	2,890	1,562
資産合計	16,195,493	16,199,211
負債の部		
流動負債	6,415,123	6,611,047
固定負債	6,524,478	6,355,277
負債合計	12,939,601	12,966,325
純資産の部		
株主資本	3,024,086	3,009,713
資本金	1,077,998	1,077,998
資本剰余金	517,745	517,745
利益剰余金	1,428,803	1,414,553
自己株式	△ 461	△ 584
その他の包括利益累計額	23,171	△ 12,858
その他有価証券評価差額金	12,894	15,512
退職給付に係る調整累計額	10,276	△ 28,370
非支配株主持分	208,634	236,030
純資産合計	3,255,891	3,232,885
負債及び純資産合計	16,195,493	16,199,211

（注）記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

（単位：千円）

科 目	前 期 （2023年3月 1 日から 2024年2月29日まで）	当 期 （2024年3月 1 日から 2025年2月28日まで）
売上高	38,341,480	39,766,797
売上原価	29,250,728	30,440,648
売上総利益	9,090,752	9,326,149
その他営業収入	1,482,366	1,971,716
営業総利益	10,573,118	11,297,865
販売費及び一般管理費	10,161,359	11,165,044
営業利益	411,758	132,821
営業外収益	40,985	64,571
営業外費用	55,125	51,510
経常利益	397,618	145,882
特別利益	8,541	19,879
特別損失	144,759	40,827
税金等調整前当期純利益	261,400	124,934
法人税、住民税及び事業税	125,979	73,332
法人税等調整額	△ 15,791	10,446
当期純利益	151,212	41,155
非支配株主に帰属する 当期純利益	15,720	27,358
親会社株主に帰属する 当期純利益	135,492	13,796

（注）記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

科 目	前 期 （2023年3月 1 日から 2024年2月29日まで）	当 期 （2024年3月 1 日から 2025年2月28日まで）
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,534,917	357,331
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 681,580	△ 685,357
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 745,649	△ 66,857
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	107,687	△ 394,884
現金及び現金同等物の期首残高	940,845	1,048,532
現金及び現金同等物の期末残高	1,048,532	653,648

（注）記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書

（2024年3月1日から2025年2月28日まで）

（単位：千円）

	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	1,077,998	517,745	1,428,803	△ 461	3,024,086	12,894	10,276	23,171	208,634	3,255,891
連結会計年度中の 変動額										
剰余金の配当			△ 28,046		△ 28,046					△ 28,046
親会社株主に帰属 する当期純利益			13,796		13,796					13,796
自己株式の取得				△ 123	△ 123					△ 123
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額（純額）						2,617	△ 38,647	△ 36,029	27,396	△ 8,633
連結会計年度中の 変動額合計	－	－	△ 14,249	△ 123	△ 14,372	2,617	△ 38,647	△ 36,029	27,396	△ 23,006
当期末残高	1,077,998	517,745	1,414,553	△ 584	3,009,713	15,512	△ 28,370	△ 12,858	236,030	3,232,885

（注）記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。



株式情報・会社情報

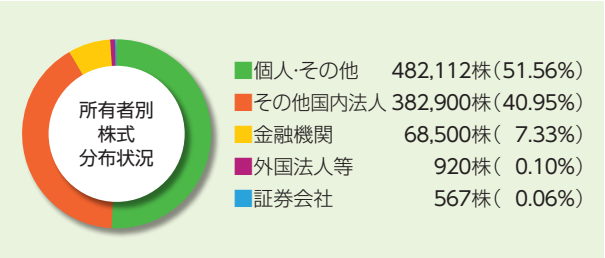
株式の状況 (2025年2月28日現在)

1) 発行可能株式総数	2,175,000株
2) 発行済株式の総数	934,999株
3) 株主数	1,462名

大株主（上位10名）

株主名	株式数(株)	持株比率(%)
株式会社 イズミ	185,200	19.81
佐竹 睦子	92,500	9.89
マルヨシセンター取引先持株会	81,700	8.74
有限会社 佐竹興産	49,900	5.34
株式会社 百十四銀行	33,800	3.62
株式会社 阿波銀行	32,800	3.51
佐竹 克彦	26,300	2.81
マルヨシセンター従業員持株会	17,839	1.91
ロージー 美佳	17,000	1.82
黒田 真由美	11,400	1.22

(注) 持株比率は自己株式（151株）を控除して計算しております。



会社概要 (2025年2月28日現在)

社名	株式会社マルヨシセンター
設立	1961年3月
本店の所在地	香川県高松市国分寺町国分367番地1
資本金	1,077,998千円
事業内容	スーパーマーケットおよびレストラン
店舗数	スーパーマーケット35店舗 レストラン1店舗
従業員数	395名 (ほか、パートタイマー1,019名 [8時間換算])

取締役・監査役 (2025年5月29日現在)

代表取締役会長 C E O	さ 佐 竹 克 彦
代表取締役社長 C O O 兼CFO	か 加 藤 宏 道
取締役副社長 C M O 兼CIO	い 伊 藤 雅 久
取 締 役	た 田 村 勉
取 締 役	おお した ひで き 樹
常 任 監 査 役	おお にし とし ひろ 大 西 敏 広
監 査 役	かわ ひがし しょう じ 川 東 祥 次
監 査 役	み やけ やす お 三 宅 康 夫

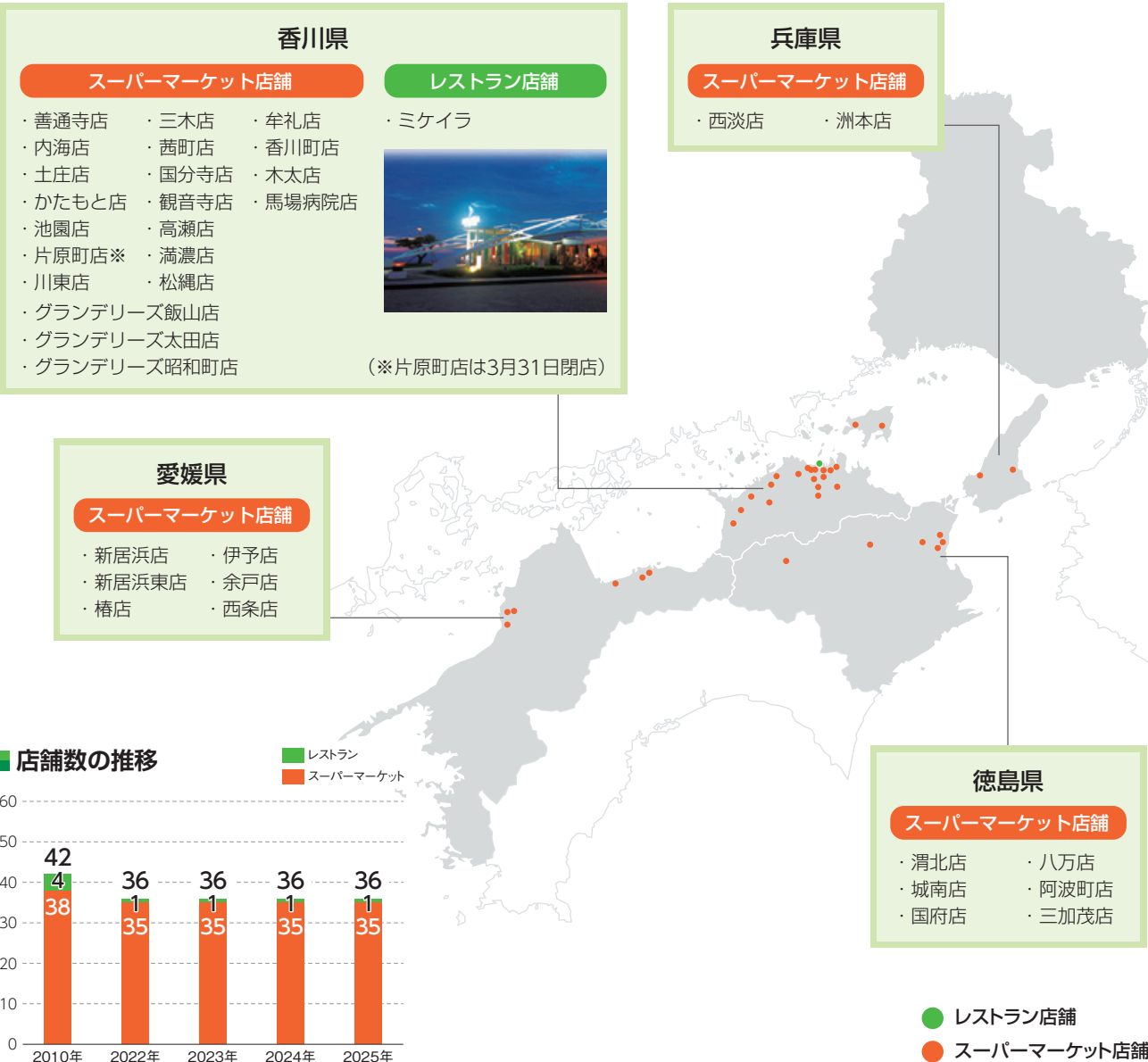
(注) 大下秀樹は社外取締役、川東祥次および三宅康夫は社外監査役であります。

会計監査人 (2025年5月29日現在)

太陽有限責任監査法人



店舗ネットワーク (2025年2月28日現在)



店舗数の推移

